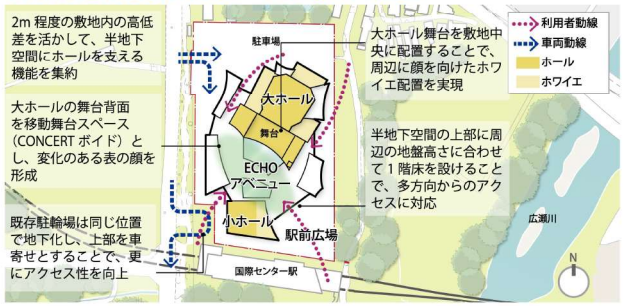
さまざまな人の流れを受けとめ / つなぐ ECHO アベニューと建物群

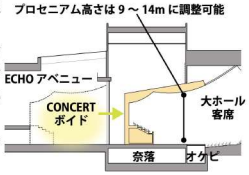
- ECHO アベニュー（駅前広場・交流広場）は、駅 / 青葉山公園 / 駐車場 / 車寄せ（提案）など多方面との人の流れを受けとめます。
- 人の動きに合わせた建物群は、円弧壁で周辺環境に呼応し、多様な機能が積み重なる事で、人々の偶発的な出会いを生み出します。
- ECHO アベニューにある MEMORIAL と CONCERT の2つのボイドにより、すべての階をつなぎます。

裏のない建物を実現する大ホール舞台の中央配置



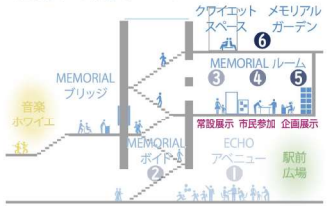
建物全体のモードを大きく変化させる一体型移動客席

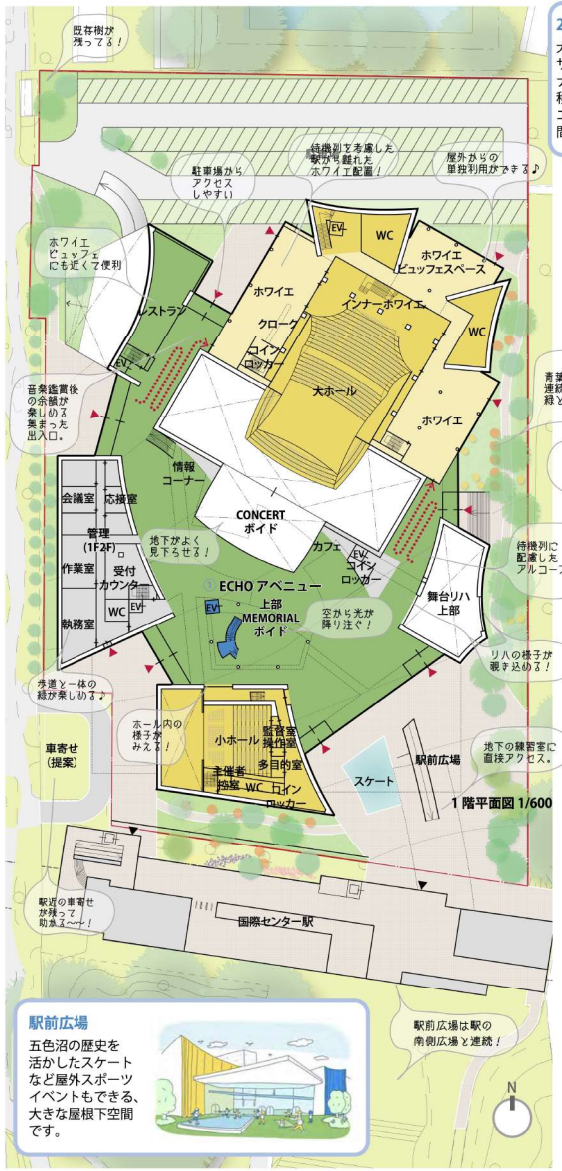
- クラシック音楽ホールと演劇等多目的利用を簡単に切り替えられる本格ホールです。
- 一体感の高い良好な音響のホールをサラウンド型モードで実現するとともに、多目的利用モードの際は第３のリハーサル室として公開ゲネプロやミニコンサート会場としても利用可能です。
- シンプルな水平移動式は先行事例上、最もランニングコストを抑制できます。



想起の深さに応じて空間が立体的に展開する震災メモリアル

- 立体的な多目的交流スペースである MEMORIAL ボイドを中心に、震災の情報や想起の深さをたどって関連機能が全フロアに展開します。
- 展示スペースは雲のように施設全体に広がり、ECHO アベニューと一体となって、接点は市民活動・音楽活動との連携・協働をつくり出し、防災環境都市・仙台を発信します。





駅前広場

五色沼の歴史を活かしたスケートなど屋外スポーツイベントもできる、大きな屋根下空間です。

2 種類のホワイエ

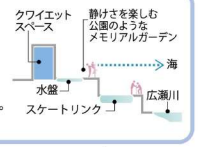
大ホールで小規模なコンサート等を行う際はインナーホワイエ内を観客が移動し、アウターホワイエを独立した室や展示空間等として利用できます。

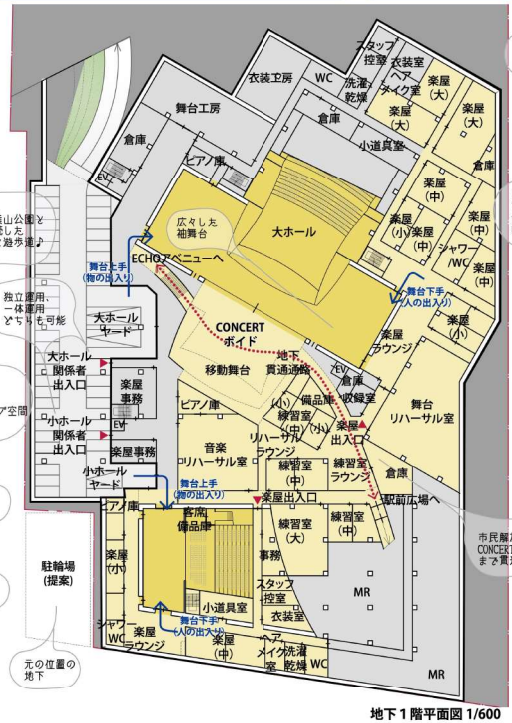
CONCERT ボイド

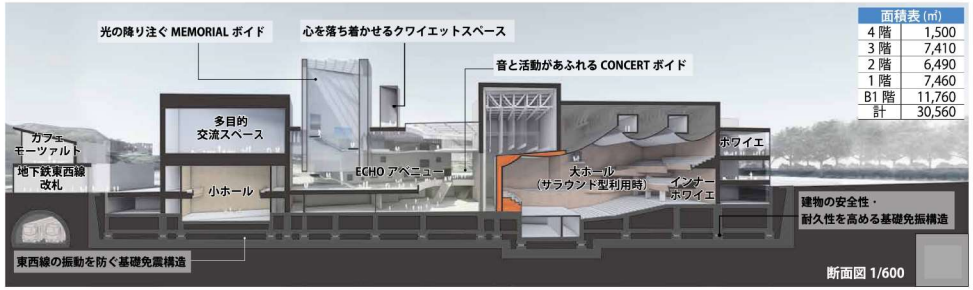
第三のリハーサル室として、音楽を楽しむ新鮮な場所をつくります。

メモリアルガーデン

広瀬川や海とのつながりを感じながら、鎮魂と追悼の気持ちを温める場とします。







面積表 (㎡)	
4 階	1,500
3 階	7,410
2 階	6,490
1 階	7,460
B1 階	11,760
計	30,560